

『いいところ探し』

○活動のねらい

サポーターとしてどのようにサポートしていくのかについて考えることができる

○所要時間 30分

○トレーニングを受ける人数 3名～多数

活動内容 《 》は領域、【 】はスキル、『 』は活動名	時間 (分)	トレーニング上の留意点 フィードバックの視点
1 《自己理解・他者理解》 【自他からの自分へ】 『いいところ探し』 ①自他からの「いいところ探し」を読む ②各自読んで感じたことをまとめる ③②をもとに近くの人に伝え合う	15	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に「いいところ探し」を配付 ・書いてくださったことへのお礼 ・ワークシートの配布 ①自分自身へのいいところ探しを書かなかった人へは、人から見た「いいところ」を受容するように伝える ②③あらゆる場面をフィードバック時に賞賛するために行動を共感的に観察する
④エクササイズシェアリング ・各自感じたこと・話し合いの様子を発表	5	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いによいところを認め合っている
2 本プログラムを振り返って	5	フィードバックの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・トレーナーとしてどのようにサポートして行くのかについて考えることができる
パーソナルプランニング	5	※パーソナルプランニング例 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの良いところに向け、より良い人間関係を築いていけるようにしていきたいと思います

パーソナルプランニング後の職員へのかかわりの具体例

サポーターが行ったこと	サポーターが感じたことやサポートを受けた職員の様子
「生徒が授業中真剣に取り組めなくて…」と嘆いていた A 教諭へ B 教諭が「そうですか？『A 先生はいつも俺たちと真剣に向き合ってくれている』と生徒が言っていました、私自身もそう感じています。先生ほど生徒のノートを丁寧に見られている方を見たことはありません。そういう先生の姿を生徒は見逃していないんですね」と言葉を掛けした	B 教諭からの言葉掛け後、A 教諭へインタビュー 「そんな風に見ていてくださったんだ～となんとなくはるかしくなります。でも、自分のやっていることに間違いはなかったなと勇気づけられました。笑顔になっていく自分に気がきました」